

令和4年度(2022年度) 第1回政策会議の概要

令和4年度(2022年度)第1回政策会議の主な内容は以下のとおりです。

番号	案件名	内 容	主な意見	審議結果	部局名
1	基本政策の策定について	<ul style="list-style-type: none">・市長の掲げる基本理念「未来につなぐまちづくり～「創る改革」とよなか 夢 みらい～」に基づき、任期中に取り組む政策を「基本政策」として取りまとめ、毎年度その進捗状況を評価・公表する。・基本政策は「6つの政策の柱」で構成する。・「6つの政策の柱」は70の政策項目から成る。	<ul style="list-style-type: none">・取組内容を分かりやすく示すとともに、スピード感をもって取組を進めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取組を進める。	都市経営部 経営計画課
2	豊中市立養護老人ホームの民営化について	養護老人ホーム永寿園について、今後の高齢者の状況を見込み質の高いサービスを提供できるよう民営化の検討を進める。	<ul style="list-style-type: none">・市民のセーフティネットを維持・確保したうえで、取組を進めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取組を進める。	福祉部 長寿社会政策課
3	重度障害者等就労支援特別事業	重度障害者等が介護サービスを受けながら働くことを可能にするための制度を実施する。	<ul style="list-style-type: none">・就労意欲を持つ重度障害者の市民が確実に利用できるよう、制度の周知を行うこと。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取組を進める。	福祉部 障害福祉課

番号	案件名	内 容	主な意見	審議結果	部局名
4	医療的ケアのある重症心身障害者支援にかかる施設運営補助金の交付対象拡大	既存の日中活動の受け入れに係る補助金に加え、宿泊受け入れに係る補助金の拡充を行う。	・希望者が確実に制度を利用できるよう、施設への働きかけを十分に行うこと。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	福祉部 障害福祉課
5	ICTを活用した見守りシステムの導入	ひとり暮らし等の高齢者が、住み慣れた地域で安心・安全に生活できるよう、ICTを活用した新たな見守りサービスを導入し、見守り・緊急時の対応を行う。	・利用者が使いやすく、より効果的なシステムを選定すること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	福祉部 長寿安心課
6	コロナ健康支援事業補助金の創設	民間事業者が実施する、コロナ健康二次被害※1及びコロナフレイル※2の啓発・予防事業に対する補助金を新設する。	・コロナ健康二次被害及びコロナフレイルへの対策については、市が推進している事業と本事業とを組み合わせながら効果的に進めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	健康医療部 コロナ健康支援課
7	豊中スポーツ魅力発信事業について	競技人口が減少傾向である競技スポーツの更なる普及進行を図るため、豊中スポーツ魅力発信事業を補助金事業として実施する。	・部活動の地域移行に対応できるよう、指導者育成の視点も持ちながら取り組みを進めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	都市活力部 スポーツ振興課

番号	案件名	内 容	主な意見	審議結果	部局名
8	子育て応援クーポンの配布	乳児家庭全戸訪問事業の対象者に子育てを応援する商品・サービスに利用できる1万円相当のクーポン(カタログギフト方式)を配布する。	・幅広い内容の商品、サービスを市民が選択できるようにすること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	こども未来部 こども政策課
9	休日保育の拡充について	現在市内1か所で行う休日保育について、北部および南部の2か所に拡充する。	・保育時間の延長や柔軟な料金設定など市民サービスの向上につながる取組みとすること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	こども未来部 こども事業課
10	地域における発達支援の強化 障害児・者の切れめのない支援の推進	現在児童発達支援センターで実施中の就園前小集団親子教室を地域子育て支援センターで実施するとともに放課後等デイサービス事業の対象年齢拡充および複数の通所支援事業等の一体的な民間委託を実施する。	・子どもの成長期にあわせた切れめのない取組みを進めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	こども未来部 こども相談課
11	社会的養護の推進に向けた体制拡充について	令和7年度の児童相談所開設を見据え、乳児院を市内に誘致することとあわせ、里親委託等社会的養護に係る体制の拡充を図る。	・本市の市民力を活かし、里親の普及啓発をはじめ、社会的養護を必要とする子どもの支援体制づくりを進めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	こども未来部 こども相談課 児童相談所開設準備チーム

※1 コロナ健康二次被害…コロナ禍による自粛生活の影響で外出や人とのかかわりを控えた結果、運動不足や体力低下、生活習慣病の悪化、うつ傾向、認知機能の低下など、健康被害が発生すること。

※2 コロナフレイル…コロナ禍による自粛生活の影響で、運動する機会や人とのかかわりが減るなど活動量の減少により心や体が衰えた状態になること(虚弱)→結果として健康二次被害につながる。